

## 19. 瓶の蓋が開かない

001A : ハーハー。ナンーダガ コノビンノフタ アガネゴトアガネゴト。  
はあ。 なんだか この瓶の蓋 開かないこと開かないこと。

{息を吸う音} アラーー サッパリ アガンネヤナー。アレ、オトサン  
{息を吸う音} あら さっぱり 開かないよなあ。あれ、お父さん

カエッテキタンデネーベガ。 オトーサン。  
帰ってきたのではないだろうか。お父さん。

002B : タダイマ。  
ただいま。

003A : ア、チョードイードゴサ キタヤ。コレ ビンノフタ アガナグテ イマ  
あ、ちょうどいいところに 来たよ。これ 瓶の蓋 開かなくて 今

コマッテダヤー。ナガナガ アガネンダデバー。 ア  
困っていたよ。 なかなか 開かないんだってば。 X

004B : ウン。  
うん。

005A : アゲデケライ。  
開けてください。

006B : ドーレヤ。 {間} [1] ウンウン キズメテーナー。コンナドギサー、  
どれよ。 {間} うんうん きついなあ。 こんなときさ、

ガースーサ コゴー {指で蓋をつつく音} アブット インダゾ。  
ガス[の火]に ここ {指で蓋をつつく音} あぶると いいんだぞ。

007A : アブット イーノネ。  
あぶると いいのね。

008B : ウン。(A ウン) ホーレ、ヤッテミッカ。  
うん。(A うん) ほれ、 やってみるか。

009A : ンダネー。  
そうだね。

010B : {間} [2] ホラ。  
{間} ほら。

011A : アラ。イトモ カンタンニ アイダゴドー。  
あら。いとも 簡単に 開いたこと。

012B : {瓶をテーブルに打ち付ける音} [3] オボエデオガイン。  
{瓶をテーブルに打ち付ける音} 覚えておきなさい。

013A : アラララ。ハイハイ アリガトゴザリス。 {笑} ナンツト マー。 {笑}  
あららら。はいはい ありがとうございます。 {笑} なんと まあ。 {笑}

[1] {間}

話者が瓶の蓋を開けようとする演技をしている。

[2] {間}

話者がガスコンロの火で瓶の蓋をあぶる演技をしている。

[3] {瓶をテーブルに打ち付ける音}

Bが、瓶の蓋が開いたことをAに示すために、瓶本体をテーブルに軽く打ち付けている。